

# 週刊住宅

2020年(令和2年)3月9日号

NO. 2901 (毎週月曜日発行)

年ぎめ購読料 18,164円(本体・送料込み(税込み19,980円))

発行所 株式会社週刊住宅タイムズ

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-4 バビル

電話03-3234-2050 FAX03-3234-2070

問い合わせ: info@sjt.co.jp 情報提供: press@sjt.co.jp



## CFネッツ流

## 新・大家実践塾

100

### 「家族信託の心配事」

「先日、また一つ考えさせて、直系尊属も兄弟もいなくなる相続の問題に直面したので、相続人は不在であった。ある日、家族信託の案を。遺言でも書かない限り、件でIさんから電話の連絡が入った。Iさんは、父親が亡くなった後に高齢の母親と2人で生活している。Iさんは、1人息子であり、家族信託が必要ない状況でもない。結婚も考えているのかと思いい、尋ねてみた。」

「そうすると、Iさんは父に行くのでは……」と心配している。Iさんは50代前半である。死を意識するには早すぎる年齢ではあるのに、気が配っている。結局、電話では真意が伝わってこないため、Iさんが弊社の事務所まで来てくれることになった。Iさんの希望を確実に叶えるために、家族信託が必要かも知れない。Iさんが事務所で説明した。先にIさんが亡くなった。Iさんの母親に少なくとも3分の1の財産が相続され、Iさんが亡くなった。Iさんは、10年前にがんにかかって手術をしたことがあった。

## 叔父に財産を渡したくない

## がん経験の50歳男性の悩み

「その際、母親が叔父に財産が行かないように遺言を書いてくれれば、Iさんも知らないから、万が一の目的は達成できるのだ。しかし、母親と叔父との仲は悪くないようなので、状況のちょっとした変化で、家族信託は必要にもなる。」



■小林雅裕

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-19-35 C

Fネッツ鎌倉ビル。電話

0467-22-7772、

携帯#080-4196-

1167、ファクス#04

5-330-57

73、個人フアク

ス#020-46

68-1851